

F D ・ S D の動向と実際

ーよりよい学生の学びにつなげるためにー

近畿大学 I R ・ 教育支援センター

竹中 喜一

yoshikazu.takenaka@kindai.ac.jp

講師紹介

- 石川県金沢市出身
- 教育工学（人はどうやったらよく学べるか）が専門。博士（人間科学）
- 民間企業（4年）、関西大学職員（10年）、愛媛大学教員（5年）を経て現職
- TA・SA・LA制度設計と運用、授業支援、ライティング支援、教職員の能力開発、カリキュラム開発支援、教学IRなどを担当
- 著書に『シリーズ大学の質保証2 学習成果の評価』（編著）、『大学SD講座4 大学職員の能力開発』（共編著）、『大学の学習支援 Q&A』『大学FD入門』（分担執筆）など



FD・SDの概要

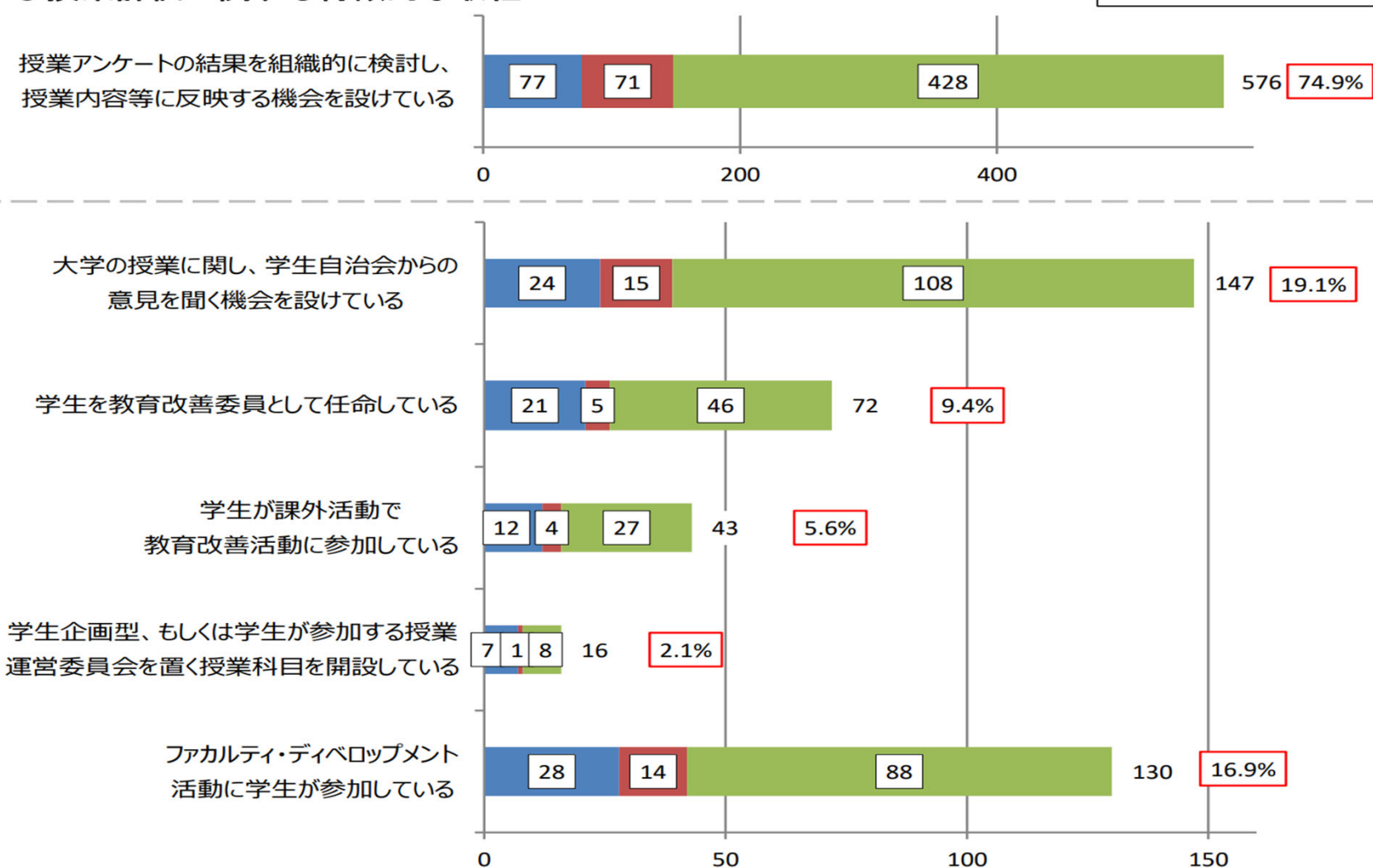
- FDはFaculty Development
- SDはStaff Development
- 大学設置基準で義務化(大学院、短期大学も)
- FD×SDとして教職員合同の研修も増加



- FD、SDとも内容は各大学等に委ねる
- 講演会、シンポジウム形式が最も多い(FD)

FDでの学生参画

○授業評価に関する特徴的な取組



(文部科学省 2024)

新任教員研修での学生登壇

- プログラム「近大生を知る」に学生が登壇
 - ・「学修サポートデスク」の説明
 - ・近大生の様子の語り
 - ・新任教員からの質疑応答

学生モニター会議

■ 手順

- ①各学科/コース/専攻から数名ずつの学生モニターを招集
- ②半期/1年/在学期間を振り返っての意見を指定用紙に記述
- ③記述内容について同じカリキュラムの学生同士で議論し、適宜追記した後に提出
- ④記述内容を取りまとめ、コンサルタント教員が学部代表教員にフィードバック

■ 指定用紙の項目例

- ・「あなたの学習につながった科目とその理由」
- ・「カリキュラムや授業で改善してほしいものとその理由」
- ・「学びを深めるために自分で工夫した点」
- ・「施設等についての要望」

収集した意見の例

- (インターンシップ)の行き先を自分たちで決めなかった
 - 質的データの収集と分析…に関しての授業が少なかった
 - (ある特定の)〇〇の授業について内容が難しい
 - 理系の授業がもう少し欲しい
- 開講年次や担当者の変更、新規科目開講、フィールドワークの改善などに活用

(仲道・片岡 2020)

三者協働型によるFD/SD研修

- 教職員と学生が受講者となる研修プログラム
 - ・テーマは教育・学習支援、大学広報など
 - ・2017年、SD義務化を契機に教職協働で開発
 - ・大学教育に関心を持つ学生、学内教員、1年目職員などが受講
 - ・職員は研修運営だけでなく、講師も一部担当

開催日	内容(2022年度)
10/24	本学の学生調査結果から関大・関大生の未来を考える
11/ 7	大学教育の質ってどうやって保証されるの？
11/21	対面と遠隔を併用した授業実践報告
12/ 5	インストラクショナルデザインを活かした授業実践
12/19	グループワーク
1/16	各グループによる発表(学内公開)

三者協働型によるFD/SD研修の成果

■ 視野の広がり

- ・自分の部署からの目線だけでなく、全学的な目線から業務を見る心がけが持てるようになった(職員)
- ・物事の見方が変わり、さらに視野を広げることができました。1つの課題にも、多くの意見があることを知ることができました(学生)

■ 業務(学業)の行動変容

- ・学生と同じテーマで話すことができ、こういう場を自分の部署でも(業務でも)積極的に作ろうと思いました(職員)
- ・相手の立場を考えながら、意見を伝えることができるようになったと思います。みなさんと立場が違う中で、どのような考えが求められているのかを考えることが多かったです(学生)
- ・同じような情報を与えられても、その文脈が厳密に示されていないと、さまざまな理解が生じることも、いろいろなワークショップでこれまで体験してきたことですが、改めて自分の授業や仕事に引きつけて考えてみたいと思います(教員)

学生参画によるFD・SDのポイント

- そもそもFD・SDとは
 - ・知識、技能、態度習得の場
 - ・学内関係者間の対話の場
 - ・新たなアイデアや考えの創造の場(知の創造)
- 学生参画によるメリット
 - ・上記の場が活性化(特に2つ目と3つ目)
- 学生参画の注意点
 - ・「学生にとって何がメリットか？」に答えられる
 - ・参画を求める学生の募集方法、選定方法を考える
 - ・活動主義に陥らない
 - ・継続性と発展性を考える
 - 企画の具体化、施設・設備の改善、など

参考文献

- 竹中喜一(2018)「大学職員の能力育成に関する研究—学習共同体の機能に着目して—」大阪大学大学院人間科学研究科博士論文
- 仲道雅輝・片岡由香(2020)「授業コンサルティングの手法を用いたカリキュラムコンサルティングの試み—社会共創学部環境デザイン学科の取り組み事例—」『IR News』第7号、p.5
- 文部科学省(2024)「令和4年度の大学における教育内容等の改革状況について」